

事業所名 グループホームびっちゅう
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 3月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 介護支援専門員
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員
B:現職 介護保険施設勤務
資格・経験 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・広島との県境に近い、小高い丘の上に「グループホームびっちゅう」はあり、市営住宅に包まれるように建っている。春には山菜が芽吹き、冬には雪が積もる等、自然の恵吹を身近に感じられる素晴らしい環境の中で入居者は暮らしている。
- ・医療法人が運営しているホームで、認知症高齢者の介護について専門的なノウハウのもとホーム運営に取り組み、入居者の安全・安心な暮らしを支えており、入居者・家族ともに安心して介護を受けることができる。
- ・ホーム前の道路は行き止まりになっており、交通量も少ないため、安全に日々の散歩に出かけられる。
- ・同一敷地内に市営住宅、隣には地域の集会所があり、地域に開かれたホームとして地域の方々との交流を深めている。また、入居者は地元の方が多く、地元の方からの支援・協力体制も築かれており、住み慣れた場所に入居者が安心して暮らし続けられるよう支援している。
- ・入居者の身体機能の維持には留意しており、健康記録表を作って「生活リハビリ」の項目を設け、各個人の毎日のリハビリ内容を記録し、健康維持に取り組んでいる。
- ・食堂は床暖房を施し、台所は電磁加熱器使用で、入居者が安心して調理や配膳に参加できるよう工夫されており、火災防止には特段の注意を払っている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

職員会議は、必要に応じて随時開催されている。今後は、チームケアを行う上で重要なケアカンファレンスの開催、ケアサービスの向上に必要な職員会議やホーム内の研修を定期的に行い、より一層のチームケアの充実を図っていかれることを期待する。また、法人内のネットワークを更に活かし、会議の目標や内容を具現化されると、より職員にわかりやすく、伝わりやすいと思われる。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>・入居者の経歴・能力を把握し、本人の意欲を活かしながら今までの生活スタイルを継続できるよう、「寄り添い一緒に歩むケア」をめざしている。</p> <p>・ホームを「第二の我が家」として、「一人ひとりのプライバシーを守り」、「その人らしさを認め、主体性を大切に」しながら、「健やかに安心して、穏やかに喜びの味あえる生活ができるケア」をめざしている。</p> <p>・地域の催しやレクリエーションへの参加で地域住民と交流し、「地域社会に開かれた明るいホーム」作りに努めている。</p> <p>・日常生活を生活リハビリと捉え、認知症の進行を緩和し安定したホーム生活が維持できるよう支援している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>・共用空間は、床暖房で室温も調整されており、大きなガラス戸からの採光も充分で明るい。畳コーナーにはコタツを置いて、集団の中でも一人でのんびり横たわってくつろげるように配慮しており、入居者が思い思いの場所でゆっくりとくつろげるよう環境を整えている。</p> <p>・長い廊下も室温調整がされており、生活リハビリの「廊下歩行」が快適に入居できる。広く長い南向きのウッドデッキも安全に設えており、悪天候の日でも自由に歩くことができ、入居者のストレスの緩和や精神安定にもつながっている。</p> <p>・大きなガラス戸からは、外の自然もよく見渡せ、天気の良い日には散歩に出て山菜・野草を摘むなど、自然にふれ合う機会を設けている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>・職員は、入居者の今までの生活歴・経歴・能力の把握に努め、洗濯たたみやテーブル拭きなど、自宅で行っていたことをさりげなく支援しながら、できる限り今までと変わらぬ生活が継続できるように心がけている。</p> <p>・入居者の自己決定を尊重し、自信回復や自由な感情表現ができる雰囲気作りを行い、その時々入居者の気持ちを尊重するように心がけている。</p> <p>・職員は、入居者個人のことを他の入居者の前で話さぬように気をつけ、外部の清掃ボランティアが来た時には、入居者の居室に入らないようにしてもらおう等、入居者個人のプライバシーを守るよう配慮している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>・災害対策には特に留意しており、避難訓練は、年2回、積雪の夜間も想定して実施している。消防署や地元消防団も参加して行えるよう取り組んでおり、日頃から入居者の安全確保について地域と一体となって努力している。</p> <p>・事故があれば、速やかに事故報告書に記録し、その原因や対策について職員間で検討し、再発防止に努めている。</p> <p>・介護知識の習得や介護技術を高めるため、職員の外部研修を積極的に支援している。</p>		